

様式1 厚木市報道資料 (制度、その他一般等)		発 信 日	
		令和4年7月21 日	
1	件 名	生活利便施設立地促進事業を活用したスーパーマーケットの出店について	
2	概 要	生活利便施設が不足している地域で、その立地を促進する厚木市生活利便施設立地促進事業補助金を活用し、飯山地区へのスーパーマーケットの出店が決定しました。	
3	目 的	生活利便施設（スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア、診療所）が不足する地域への立地を促し、生活サービス機能を充実することで、公共交通を軸としたコンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを推進します。	
4	背 景	コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画などの策定に当たり、市内 15 地区で意見交換会などを開催しましたが、「身近に日常生活に必要な食糧品や生活用品などの買い物ができる施設が少なく診療所もない」との声がありました。 さらに「市民意識調査」でも、自宅周辺に必要な施設として同様の施設が上位を占めたことから、新たなインセンティブ制度を創設し施設の立地を促進することとしました。	
5	PR したい内容、セールスポイント、前回との違い等	(1) 本事業の適用は、令和4年6月の宮の里地区への診療所開設に続き2件目となり、スーパーマーケットの出店は初となります。 (2) 本市では、令和3年3月に、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる“人にやさしい都市”を目指す、「コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画」を策定するとともに、令和4年度に厚木市生活利便施設立地促進事業補助金を設立、生活利便施設が不足する地域への施設の立地を促進しています。	
6	予 算	100,000 千円 (20,000 千円×5年間)	
7	他市の状況	生活利便施設の出店に係る施設整備などの一部を支援する事業は、県内初の取り組みです。	
8	添付資料	概要、位置図	
9	問合せ先	部課名	まちづくり計画部 都市計画課 課長 高坂 英登
		電話	(046) 225-2406

生活利便施設立地促進事業を活用したスーパーマーケットの出店について

1 概要

(1) 対象者	所在地 東京都町田市金森四丁目1番2号 氏 名 株式会社 三和ホールディングス 代表取締役 小山壮之 様
(2) 対象施設	スーパーマーケット（総合スーパー）
(3) 建物所在地	厚木市飯山字赤坂上2040番2他（位置図別添）
(4) 構造・階数	鉄骨造・地上1階
(5) 延床面積	3,032 m ²
(6) 事業開始予定	令和5年3月

2 生活利便施設立地促進事業について

本市では、令和3年3月に、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる“人にやさしい都市”を目指すコンパクト・プラス・ネットワーク推進計画を策定するとともに、令和4年度から生活利便施設立地促進事業を実施し、スーパーマーケットや診療所などの生活利便施設が不足している地域への施設の立地を促進しています。本事業を活用した立地は、令和4年6月の宮の里地区への診療所開設に続き2例目となり、スーパーマーケットの出店は初となります。

なお、スーパーマーケットの立地に係る補助上限額は、100,000千円（20,000千円×5年）で、おおむね1kmの半径の区域内に同類の施設がない場合が対象となります。

生活利便施設立地促進事業を活用したスーパーマーケットの出店について
[位置図]

